



Interactive Training in Communication-Japan

<http://www.itcjr.jp>

II Volume 37
January 2019



目 次

Table of Contents

ITC-J 第 37 期のテーマ	1	ITC-J Theme 2018-2019
ITC-J 第 37 期会長メッセージ	2	ITC-J President's Message 2018-2019
役員からのメッセージ	3 ~ 4	Messages from the Officers
委員会からのメッセージ	5	Messages from the Committees
ITC-J 年次大会ご案内	6	Invitation to ITC-J Annual Conference
大会準備委員会名簿	7	Annual Conference Committees
年次大会プログラム予定表	8	Annual Conference Program Plan
年次大会プログラムのご案内	9	Guide to the Annual Conference Program
教育セッション一覧表	10 ~ 11	Education Sessions List
年次大会申込要領	12	Registration
エンターテインメント紹介	13	Introduction for Entertainment
エクスカーション	14 ~ 15	Excursion
吉備のまほろば岡山の魅力 (その 2)	16 ~ 17	Attractive Okayama, the Center of the Province of Kibi
カウンスル会長会報告	18 ~ 19	Council's Presidency Meeting Reports
カウンスル第 1 回会合プログラム考察	20 ~ 23	Considerations of Council's First Meeting Program
ITC-J マスターマニュアルについて	24	About ITC-J MASTER MANUAL
ウェブサイト利用について	25	About using the Website
会員情報・ログイン方法・編集後記	26	Message from the Editor
ITC-J 宣誓・ITC-J 声明文		ITC-J Pledge & Mission Statement

ITC-J 第 37 期 テーマ

2018 – 2019 ITC-J Theme

継承と創造

Succeed and Create



“組織の充実”

ITC-J第37期会長 加藤 正枝

会員のみなさまには佳いお年をお迎えのことと存じます。

今年が平成最後の年であり、新しい元号の始まりの年でもあります。私達は、いつの時代にあっても、大切なものは変わることなく大切に維持しながら、未来像を描き、新しい時代に向かって進んでいかなければなりません。こういう時代においては、私達の学びの軸足であるコミュニケーションの重要性・必要性が再認識されることでしょう。

昨年は京都大学特別教授 本庶佑先生がノーベル医学・生理学賞の受賞という喜ばしいニュースがありました。本庶先生は「好奇心 (Curiosity) を大切に、勇気(Courage)を持って困難な問題に挑戦(Challenge)し、必ずできるという確信(Confidence)をもち、全精力を集中(Concentration)させ、あきらめずに継続(Continuation)することで、時代を変革するような研究を発信することができるのです。」と仰り、「好奇心 (Curiosity)、勇気(Courage)、挑戦(Challenge)、確信(Confidence)、集中(Concentration)、継続(Continuation)」の「6つのC」の大切さを説いておられます。ITC-Jでも充分適用可能な言葉であると思います。

本庶先生の信念をお手本として、今期テーマ「継承と創造」の実行に取り組む時です。

さて、ITC-Jの教育の指針となるマニュアルはもうすぐ完成いたします。手元においたり、ウェブサイトを利用して活用いただけるよう準備を進めております。また、議事法に関しましても作成を開始いたしましたことお知らせいたします。また、教育資料委員会は次々に興味深い教育資料を作成しウェブサイトに掲載しております。ご活用ください。

そして、ITC-Jでは、近年稀に見る大がかりな広報活動に取り組みます。会員委員会が中心となり会員増強、親睦を兼ねて3月4日京都市において「シンポジウム」を開催します。また各カウンスルやクラブでも、オリジナルな広報活動を展開中です。

2月11日ひがし広島クラブが「小・中学生スピーチコンテスト」を、3月21日カウンスルNo.3が「高校生スピーチコンテスト」を、4月17日は岡山あくらクラブが「チャリティ茶会」を開催します。いずれの活動も8回目となり、継続の力を感じるものです。それぞれの活動をとっても意義深いことと喜ばしく思っています。

さて、この会報第2号は今年7月1日・2日、岡山で開催する年次大会の案内を主としております。

- ① 会長行進は各カウンスル・クラブ会長に登壇して頂きます。
- ② スピーチコンテスト委員会は、英語の部も日本語の部も一つのコンテストとして開催すべく鋭意準備中です。
- ③ 会員表彰では新たに皆勤賞表彰を行います。
- ④ 観光は大会前だけでなく、大会後にも企画いたしました。

年次大会は一年に一度、会員が集い、学びと親交を深める絶好の機会です。プログラム・教育委員会ではみなさまの好奇心や学びの気概を満たすことができるよう、そして、大会準備委員会は岡山でみなさまとお会いできますのを楽しみにして、喜んで頂けるよう準備を進めております。多くのみなさまのご参加をお待ちしております。

そして、みなさまのご意見やご提言を役員会までお届けくださいますよう重ねてお願いいたします。

役員からのメッセージ

ITC-J サポートビューローの活用

第一副会長／プログラム・教育委員長 豊川三千代

サポートビューローにはカウンスル・クラブの教育の充実をはかる為、皆様のニーズに合わせた多様な人材が登録されております。活用されたカウンスル・クラブには1回につき3,000円の補助金が支給されます。1クラブ1回のみとの活用と申ししておりましたが、要望により複数回の活用を可能といたしました。但し補助金は1回のみといたします。12月20日現在、14件の依頼がございました。すでにご利用いただいたクラブからの声をお届けいたします。

カウンスルNo.4 福山クラブ

報告者：第一副会長 早間文子

講師：川崎邦子会員(岡山クラブ)

内容：「スピーチの構成」

月日：2018年10月19日(金)



10月例会は、「スピーチの構成」の勉強をしました。とても丁寧な分かりやすい内容で、なるほど、なるほどと頷きながらすぐに話に聞き入りました。

スピーチをする上での大切なポイントは

- ① 人は会って5秒で印象が決まるので、その場に合った服装・印象作りが重要
- ② 声の大きさ、速さ、高さ、低さなどで伝える内容が違ってくる
- ③ 笑顔の作り方、良い姿勢の作り方
- ④ スピーチは 導入 本論 結論と3つのパーツに分けて考える

などデモンストレーションも交えながら丁寧に分かりやすくお話して下さりとても実りの大きい例会になりました。

カウンスルNo.5 城北クラブ

報告者：第一副会長 中井弘子

講師：高山敦子会員

(淡路、クリスタル神戸、北摂、バイリンガル西条クラブ)

内容：講演「私を変えたアメリカ生活」

月日：2018年12月12日(水)



城北クラブは12月12日、高山敦子会員による「私を変えたアメリカ生活」の講演をして頂きました。子供の頃からアメリカ生活に憧れていた高山会員は、結婚後アメリカ生活の夢を実現されました。自らのアピールにペーパーフラワーアレンジメントを使い、得意の語学を駆使してアメリカ社会に溶け込まれたそうです。最後にあげられた

- ① 決して人のことを口にはいけない
- ② コミュニケーションの重要性を知る
- ③ そして常に「笑い」を忘れない

の3点を肝に銘じておこうと思いました。アナハイム図書館でホワイト女史の思想に触れ、自称日本のアーネスティン・ホワイト女史と言われる高山会員のお話に一同心から笑い、ITC-Jの精神とパワーを頂きました。

役員からのメッセージ

第二副会長／会員委員長 西阪 宣枝

1. 「シンポジウム」を開催いたします。

新しくなったITC-Jの組織と共に、会員委員会も新たに広く社会に広報し、新入会員の増強、会員維持に努めなければなりません。ITC-J会員は、皆、真面目にそして熱心に学び、力を蓄えているものの「社会への貢献」は少なく感じます。そこで「持てる力を、社会に」と題し、京都女子大学学長 林忠行先生をお迎えしてご講演いただくと共に現在社会でご活躍の3名の方々にご討論いただきます。会員の皆様、ご多用とは存じますがどうぞ外部のご友人、知人の方々をお誘い下さり、多数のご参加を心よりお待ち申し上げます。



Interactive Training in Communication-Japan

ITC-J 主催シンポジウム

持てる力を、社会に!

～しなやかな知と心で～

2019年
3月4日(月)
13:30~15:30

京都ガーデンパレス
〒602-0912 京都市上京区烏丸通下長者町上ル鹿前町605
Tel.075-411-0111 Fax.075-411-0112

基調講演
京都女子大学 学長 **林 忠行氏**

パネリスト
簡井 清子氏 京都産業大学名誉教授
泉 浩子氏 元日本知産院選定アナウンサー 開設顧問 泉産 産長
高山 敦子氏 ITC-J次期会長
甘利 治夫氏 コーディネーター 奈良新聞社 代表取締役

プログラム
13:30 開会 (受付開始 13:00)
13:40 第一部 基調講演 『しなやかな知と心で』 講師 林 忠行氏
14:10 第二部 パネルディスカッション
15:30 閉会

総合司会 山口久美子会員

主催／ITC-J 後援／京都女子大学・株式会社 奈良新聞社

2. 表彰式を年次大会において執り行います。

- 対象者
- | | |
|--------------|---------------------|
| 1. 継続会員 | 20年 30年 40年 45年 50年 |
| 2. クラブ例会皆勤会員 | 20年以上 30年以上 40年以上 |
| 3. 会員30名クラブ | 30名以上 30名達成 |

*入会日より満年数が経過してはじめてその該当継続会員になります。

委員会からのメッセージ

スピーチコンテスト委員会

委員長 若林 裕子

今期委員会は「スピーチコンテスト規則と任務」を改定しました。スピーカーの公平性の観点から【全出場者に同じ3つの論題を与える】方式に変更しました。

プログラムリーダーの台本も、できるだけ簡潔で分かりやすい言葉で表現いたしました。

ITC-J年次大会のスピーチコンテストは大会2日目に、1つのコンテストとして1日で行います。英語の部も日本語の部も盛り上げて、1年のスピーチコンテストの集大成となりますよう、委員会一同準備を進めています。新しい形のスピーチコンテストをどうぞご期待ください。

スピーカーの皆様、日頃の研鑽を積み重ねましたお力を存分に発揮なされますよう万全の準備をしてお待ちいたします。そして会員の皆様、スピーカーへの温かいたくさんのお応援をお待ちしています。

教育資料委員会

委員長 坂口 正子

昨年末、新しい教育資料2点「言葉でつなぐ即興スピーチ」、「あいうえお自己紹介」を作成しました。また、既にITC-Jウェブサイトに掲載されています「準備のいらないワークショップ」の日本語資料5点の英訳ができました。計7点をITC-Jウェブサイトに掲載しております。クラブの教育・プログラムでご利用ください。「準備のいらないワークショップ」は、簡単に楽しく使いやすいと好評です。英語クラブでは英訳資料をご活用ください。

これからも教育・プログラムの充実を目標に、新しい資料開発に取り組んでまいります。皆さまのご意見ご要望を委員会にお寄せください。ITC-Jの発展と会員の成長のために、教育資料をぜひお役立てください。

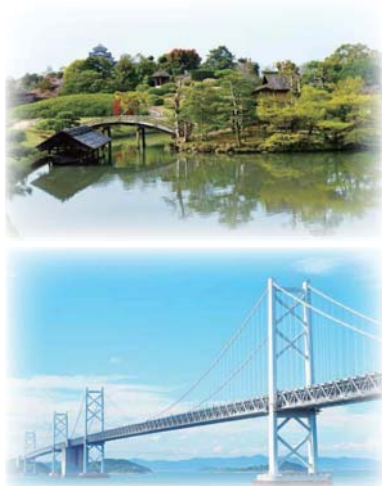
監修委員会

委員長 西村みつ子

教育資料委員会は「準備のいらないワークショップシリーズ」の英訳版を作成されました。今期の監修委員会の役目は、日本語資料の監修のみとの予想が外れて慌てました。より読みやすい資料になるよう、監修は重箱の隅をつつくようにして行いました。十分でない英語力であるからこそそのささやかな貢献ができたと思います。

もう一つの大きな仕事は、ITC-Jマニュアルの監修です。会員が活動する上での大切な教科書となるものですので、緊張感をもって、8つの目を皿のようにして取り組んでいます。

教育資料もITC-Jマニュアルも組織にとって大切な財産です。財産作りに陰ながら関わることができて委員会冥利を味わっています。



ITC-J第37期第2回年次大会ご案内 テーマ「識るを楽しむ」



開催日：2019年7月1日(月)・2日(火)
会場：ホテルグランヴィア岡山

コーディネーター 近本 節子(No.4 瀬戸内)
コ・コーディネーター 原 順子(No.4 岡山あくら)
佐藤 千恵(No.4 岡山あくら)



ITC-J第37期第2回年次大会準備委員会のメンバーは、第1回準備委員会を終え、今、心をつにして、皆様をお迎えできるよう準備を進めております。

大会テーマ「識るを楽しむ」のもと、その形がいよいよ具体的になってまいりました。

この会報でご案内申し上げますように、観光は後樂園、倉敷、備前焼、直島などの岡山を代表する興味深いエクスカージョンを計画いたしました。また、晚餐会のエンターテインメントの心に響く美しい歌声を聞きながらの一夜など、楽しい大会になりそうです。

年次大会にお集まりの皆様「充実した学び」、「新しい出会い」、「懐かしい再会」、「心に残るエンターテインメントや思い出」などがありますようにと、皆様の笑顔を思い浮かべながらのこのごろです。

前期第36期に行われた大きな変革が今期第37期は少しずつしっかりとした根を張り始めました。その根を慈しみ育てるためにも、皆様と一体になれるような温かな雰囲気を作るべく準備委員会一同一生懸命努力して参ります。皆様方のご協力とお一人でも多くのご参加をお待ち申し上げます。

Access



2F(東口駅前広場)



JR岡山駅2階中央改札口からホテルグランヴィア岡山へ直結

ITC-J 第 37 期第 2 回年次大会準備委員会 名簿

大会準備委員長：近本 節子(瀬戸内) 委員：原 順子(岡山あくら) 佐藤 千恵(岡山あくら)

委 員 会	委 員 長	委 員	
大会会計	田島 久子 (安芸)	河辺 佑子 (安芸)	
登録	前田 利子 (ひろしま)	成定 正子 (ひろしま)	
食事	遠藤 陽子 (岡山あくら)	太田 恵子 (ひろしま) 佐山 昌子 (岡山) 日吉 令子 (岡山あくら)	井原 節子 (岡山) 福井 佳子 (岡山あくら)
宿泊	豊田 麗子 (福山)	早間 文子 (福山)	
会場・備品	小倉千真理 (岡山)	伊庭 あや (岡山) 磯崎 久美 (岡山) 中川美登里 (岡山)	五十嵐起久代 (岡山) 三村百合子 (岡山) 野坂 依子 (岡山)
デコレーション	寺岡 光子 (岡山あくら)	黒瀬 智子 (岡山) 深本 晴美 (岡山あくら) 馬田 乙世 (岡山あくら)	寺岡 倫子 (岡山) 松川美由紀 (岡山あくら)
キット 名札・リボン	有馬みどり (ひがし広島)	石崎 慶子 (ひろしま) 早間 文子 (福山) 木村 清美 (安芸) 平重 映子 (ひがし広島) 佐藤真朱子 (ひがし広島)	鴉田 孝子 (ひろしま) 昼田恵美子 (福山) 鈴木 房子 (安芸) 井手畑裕紀 (ひがし広島)
儀典	米門 公子 (ひろしま)	石崎 慶子 (ひろしま) 渡辺 遙子 (ひろしま) 青木 和恵 (安芸) 上杉 優子 (安芸)	沖田 道子 (ひろしま) 吉田瑠美子 (ひろしま) 萱島 頼子 (安芸)
VIP 接待	黒住 裕子 (岡山)	松田 節子 (岡山) 佐藤 睦子 (岡山)	村山 紀子 (岡山)
ホスピタリティ	馬田 乙世 (岡山あくら)	中下 由佳 (福山) 川崎 邦子 (岡山) 早津 聡子 (岡山あくら) 榎野 眞理 (岡山あくら) 永原 聡子 (岡山あくら)	大元絵里子 (福山) 佐能恵美子 (岡山) 姫井恵美子 (岡山あくら) 松川美由紀 (岡山あくら) 仁熊 史枝 (岡山あくら)
インフォメーション	三浦 雅美 (バイリンガル西条)	坂本 公子 (ひがし広島) 吉長あけみ (バイリンガル西条)	乙野 靖子 (バイリンガル西条)
観光・広報	繁森 明美 (岡山)	熊代百合子 (岡山) 島村 忍 (岡山) 吉田 直美 (岡山)	納谷 奈緒 (岡山) 時光 育子 (岡山)
ページ	富松香余子 (福岡)	海老原あかね (しらさぎ) 佐野 由美 (ひろしま) 井上 弘子 (福岡) 西 直子 (福岡) 片山 幸子 (城北)	村上 洋子 (ひろしま) 奥 エミ子 (福山) 溝田 泰子 (福岡) 津留 能子 (福岡) 松下 節子 (とっとり砂丘)
受付	服部 英子 (瀬戸内)	松野 千景 (ひろしま) 出原 祐枝 (福山) 倉田 眞澄 (福山) 梅谷由加里 (福山) 天野寿美枝 (安芸) 日朝 史子 (瀬戸内) 中野 希美 (瀬戸内) 武市 福美 (瀬戸内) 山本 映子 (瀬戸内)	谷本美寿子 (ひろしま) 児玉 晴代 (福山) 高田 忍 (福山) 和田 晴子 (岡山) 藪田 邦子 (安芸) 晝田千津子 (瀬戸内) 小川眞理子 (瀬戸内) 寺岡 恵子 (瀬戸内)
エンターテインメント	吉岡 裕子 (ひろしま)	太田 恵子 (ひろしま)	佐藤 睦子 (岡山)

ITC-J 第 37 期第 2 回年次大会プログラム予定表

ホテルグランヴィア岡山

大会 1 日目 7 月 1 日(月)

8:30 ~ 8:50	派遣員登録受付	Registration for Delegates
8:30 ~ 9:50	登録受付	Registration
9:00 ~ 9:40	派遣員説明会	Briefing for Delegates
10:00 ~ 10:30	開会式	Opening Ceremony
10:40 ~ 11:40	議事会議・選挙	Business Session・Election
12:00 ~ 12:50	昼 食	Lunch
12:20 ~ 12:50	登録受付	Registration
13:00 ~ 14:30	講 演	Plenary Lecture
14:50 ~ 16:10	教育セッション (6 部門)	6 Educational Sessions
17:00 ~ 17:25	晩餐会受付	Registration for Banquet
17:30 ~	晩餐会開会	Opening
17:30 ~ 20:30	晩餐・役員就任式	Banquet・Installation
20:30 ~ 21:00	エンターテインメント	Entertainment
21:00	閉 会	Adjournment

大会 2 日目 7 月 2 日(火)

8:30 ~ 8:50	登録受付	Registration
8:50 ~ 9:55	議事会議	Business Session
10:25 ~ 12:15	スピーチコンテスト 1 部 (英語)	Speech Contest (English)
12:25 ~ 13:10	昼 食	Lunch
13:20 ~ 15:20	スピーチコンテスト 2 部 (日本語)	Speech Contest (Japanese)
15:25 ~ 15:45	閉会式 (報告・案内)	Closing Ceremony (Reports・Announcement)
15:45	閉 会	Closing
15:55 ~ 16:00	CMT 受付	Registration for CMT
16:00 ~ 17:00	CMT	Council Management Training

ITC-J 第 37 期第 2 回年次大会プログラムのご案内

第一副会長 / プログラム・教育委員長 豊川三千代

年次大会は年に一度全国からの会員や友人たちと出会う交流の場であり、多くの学びとITC-Jの良さを実感できる機会でもあります。

今回のプログラムは皆様に学びと感動を提供できる内容をと考え、講演と6つの教育セッションをご用意しましたので、どうぞご期待ください。

講 演

2019年7月1日(月) 13:00～

よろこびを力に…



講 師 有森 裕子氏

人は応援されることで自分の存在意義を感じられるから。そして、応援した側は、相手を元気づけたということで自分の存在意義を感じられるから自分が迷ったり元気がなくなった時こそ全力で応援をして欲しい。

なぜなら、人を応援することで人は元気になれるのです。生まれ持った才能がなくても、こうなりたいという気持ちがあれば気持ちを力に変えて行くことができるのです。

小出監督の「パーフェクトな人材が全てではない。本当に大事なのはやる気だ！それが最終的に結果を生む」

この言葉が大きなエネルギーとなったのです。

[プロフィール]

1966年岡山県生まれ。就実高校、日本体育大学を卒業後、(株)リクルートに入社し小出義雄監督率いる実業団に入る。92年バルセロナ五輪で銀メダル、96年アトランタ五輪で銅メダルと、2大会連続でメダリスト。引退後、スポーツマネジメント会社(株)RIGHTSを設立、ハート・オブ・ゴールド代表理事、スペシャルオリンピックス日本理事長ほかを務める。2010年6月、国際オリンピック委員会 (IOC) 女性スポーツ賞を日本人として初めて受賞。同12月、カンボジア王国ノロドム国王陛下より、ロイヤル・モニサラポン勲章大十字を受賞。

A 概観
岡山の歴史と文化



日本美術史家
谷一 尚氏

プロフィール

1952年生まれ、東京大学文学部考古学科卒業、同大学文学博士。共立女子大学大学院教授、岡山市立オリエント美術館長、日本ガラス工芸学会会長、日本学術会議東洋学委員を経て現職。林原美術館長 山陽学園大学副学長・教授

セッション内容

岡山城下町は他の地域にはない独特の形態をしています。それは、西には、内堀（その一部のみ現存）、中堀、外堀（中堀と外堀は現在、埋め立てられて道路になっています）、さらにその外側に西川と幾重にも防壁されているのに対し、東は旭川という天然の河川一重のみなのです。なぜこのような特異の形態となったのでしょうか。といった問題提起から入り、岡山城下町の形成過程とそれ以後の発展をまとめた後、この地域に人々が暮らし始めた旧石器時代から、縄文時代の海進、弥生時代の繁栄、巨大古墳の時代、瀬戸内の水運、下道吉備氏、奈良時代の鉄・塩・漆など都に納めた特産品、備前刀と備前焼といった個別の事例を時間の許す限りお話しします。

B クラシック
よもやま話



指揮者
藤川 敏男氏

プロフィール

大阪生まれ 大阪音楽大学音楽学部卒業。元大阪芸術大学演奏学科教授。現在東大阪市音楽家協会会長 南カリフォルニア大学、インディアナ州立大学、フィラデルフィアカーティス音楽院、ジュリアード音楽院留学 大阪芸術大学オペラ公演（フィガロの結婚・魔笛・etc.）オーケストラ公演/ウインドオーケストラ公演など学内外の特別公演・地方公演を数多く指揮。2015年なら万葉オペラ・ラボ公演でモーツァルトの【魔笛】を指揮し絶賛を浴びる。日本人でモーツァルトのオペラを指揮した回数はNo.1とも言われている。

セッション内容

クラシック音楽（オーケストラ・ピアノ・声楽・コーラス・オペラ）なかでも・オペラにまつわるよもやま話を聞いて頂き、居ながらにして世界中を旅したような気持ちになり一緒に楽しみましょう。クラシック音楽を身近に感じることができますように世界の有名なオペラ、オペラハウスなどのお話も致します。どんな話がでてくるのか、期待して下さい。

C 英語セッション
歳をとって勉強するわけ



通訳・元アナウンサー
伊藤 妙子氏

プロフィール

1935年、大阪生まれ。関西学院大卒、大学2年で国家試験1級。1985年、関西テレビ入社、第一期アナウンサー。定年退社後、時事英語会パインクラブ創立。

セッション内容

私の勉強は受験校で始まり大学2年で英語通訳試験合格後から60年余り経過した今も続いている。大学卒業後はTV報道関係の仕事に携わり、日英、日仏通訳を通して国際的な視野で物事を考えるようになった。おかげで私は年齢を感じない心身ともに若いと自負している。ではなぜ年を取っても勉強をし続けるのかを考えてみた。そのわけは、自分の楽しみ、健康のため、生活のリズムのため、時代遅れにならないため、若い気分でいたいため、友人と交流したいため、ボケないため。要領はカキクケコ、つまり、書く、興味を持つ、工夫する、健康を維持する、恋をする、目標を達成すれば人は喜びを得る。勉強はその喜びのため。生涯学習は楽しい。

D 今朝の鏡に映る
あなた！
昨日より素敵に～



リンパ健康セラピスト
野口由祐子氏

プロフィール

リンパ養成スクール Sprout 開設（2010年）リンパセラピスト&インストラクター 健康美容食育講師、ペット犬猫経絡リンパセラピスト、リンパ内臓代謝 UP 体操講師

セッション内容

あなたのリンパは、つまっていませんか？
リンパは、マッサージだけでは、流れません。筋肉、呼吸、腸の蠕動で流れるのです。お顔、デコルテ（胸）にもコリがあります。体のゴミ箱である鎖骨のお掃除をしましょう。さあ、その場で経絡のツボを押し辛いコリや目の疲れが軽くなるのを体感しましょう～お顔 UP！レジュベネーション成功！人間の身体は、約60兆個の細胞からできていて数ヶ月で細胞が入れ替わります。老廃物を排出してミトコンドリアというエネルギーを作り出す器官を元気にし、長寿遺伝子を活性化させる方法も現代医学で解明されてきました。ITC-Jの皆様が、益々、煌びやかなご活躍をなさるお手伝いをさせて頂きたいと思います。

E なるほど！経済講座
「仮想通貨：入門編」



経済研究家
石川 恵悟
名城・東葛クラブ

プロフィール

東葛クラブ・名城クラブ会員。会員歴23年。

セッション内容

以前にシンクタンクでマクロ経済・金融の調査研究職に就いていたことから、ITC-J内外で経済講座を開催しています。今回は現在注目度が高く、会員からのリクエストの多い仮想通貨を取り上げます。「仮想通貨ってよく耳にするけど、何が何だかよく分からない」「でも、ちょっと覗いてみたい」という方向けの初心者講座。専門用語の多い分野ですが、一つひとつやさしい言葉に置き換え、丁寧に説明しながら進めていきます。質問もいつでもできます。※仮想通貨への投資を促進する意図は全くありません。（ポジション・トークー切なし！）

F 「煎茶」を
のぞいてみる



茶道家
馬田 乙世
岡山あくらクラブ

プロフィール

岡山あくらクラブ会員。会員歴10年。幼いころより茶道・華道などの日本文化が身近にある環境で育つ。20代よりこれらを勉強し、教え始め今に至る。10年ほど前からは流儀を離れ、誰でも気軽に参加できる「煎茶」を目指し「グループ煎茶 西園雅社」を主宰し、「煎茶 de サロン」を開いている。

セッション内容

この場合の「煎茶」は「茶の湯」に対しての「煎茶」を指しています。日本の喫茶文化には誰もが知る「茶の湯」があります。もう一つ、今ではあまり知られていない江戸時代中頃から続く「煎茶」というものがあります。中国からお茶のいれかたやそれと共に、その時代の人にとって珍しい絵画や文物が入ってきました。それらに興味を示した人達は「文人」と呼ばれた人たちだったので、「文人茶」ともいわれます。この「煎茶・文人茶」の歴史や世界観を、その設えを通してお話したいと思います。また現在日本茶といえばペットボトル。急須のない家庭もふえている。そんな今の日本茶についてもお話したいと思います。

ITC-J 第 37 期第 2 回年次大会申込要領

- ★各クラブで、登録担当者を決めてください。(エクセルのできる方)
- ★会員宛にメール送付される「申込書」に記入し、クラブの登録担当者に提出してください。

【ITC-J年次大会申込書について】

1. 役職名は次の役職のみ記入してください。
ITC-J役員・ITC-J委員長・元日本リージョン会長・各レベル会長・クラブのITC-J派遣員および派遣員代理
2. CMTのみ出席の会員は、登録費は不要です。欠席協力金をお支払いください。
3. ゲストの方で、晩餐会のみ出席の場合、登録費は不要です。(ゲスト登録費2,000円)
4. 欠席者は、欠席協力金をお願いします。
5. 重複会員はITC-J会費を納めているクラブで申込・登録をしてください。
6. 教育セッションは第1希望、第2希望を必ずご記入ください。
会場等の都合でご希望に添えない場合もあります。
7. 昼食は、1日は和食、2日は洋食です。
8. 登録費・昼食費・晩餐会費・欠席協力金は、クラブでまとめて、送金期間中に大会会計に送金してください。

登録費	7月1日(月)・7月2日(火)	10,000円
昼食費	7月1日(月)・7月2日(火)	各々 3,000円
晩餐会費	7月1日(月)	10,000円
欠席協力金		2,000円

【ホテル宿泊申込書について】

1. 「ホテル宿泊申込書」にご希望の【部屋タイプ】を部屋記号でご記入ください。
2. 5月25日までの変更やキャンセルはクラブの登録担当者から、5月26日以降は宿泊委員長へ直接連絡してください。
3. 宿泊費は、チェックアウト時に各自でホテルにお支払いください。
4. チェックイン15:00、チェックアウト12:00です。
5. キャンセル料は、宿泊日の20日前まで10%、9日前まで20%、前日80%、当日100%、不泊100%です。
キャンセルされた方は、上記キャンセル料を各自の責任においてホテルにお支払いください。

*1泊朝食付、税・サ込

部屋タイプ	シングル	ツイン(1名使用)	ツイン(2名)	ツイン(3名)
部屋記号	S1	T1	T2	T3
料金(1名分)	13,500	22,240	11,880	10,260

ホテルグランヴィア岡山 〒700-8515 岡山市北区駅元町1-5 TEL 086-243-7000

【登録・宿泊の申込み】 一次締切 2019年4月26日(金) 最終締切 2019年5月25日(土)
【登録費等の送金期間】 2019年5月27日(月)～6月1日(土)
※5月26日以降の変更については取消のみ受け付けますが、返金できません。

登録委員長 前田利子(ひろしま) 宿泊委員長 豊田麗子(福山)

エンターテインメント紹介



ナターシャ・グジー

Nataliya Gudziy

ウクライナの歌姫
～水晶の歌声とバンドウーラの
可憐な響き～

予定曲目:

「踊る娘」「いつも何度でも」
「秋桜(コスモス)」
ほか

プロフィール:

ナターシャ・グジー／歌手・バンドウーラ奏者

ウクライナ生まれ。

ナターシャ6歳のとき、1986年4月26日未明に父親が勤務していたチェルノブイリ原発で爆発事故が発生し、原発からわずか3.5kmで被曝した。

その後、避難生活で各地を転々とし、キエフ市に移住する。

ウクライナの民族楽器バンドウーラの音色に魅せられ、8歳の頃より音楽学校で専門課程に学ぶ。

1996年・98年、救援団体の招きで民族音楽団のメンバーとして2度来日し、全国で救援公演を行う。

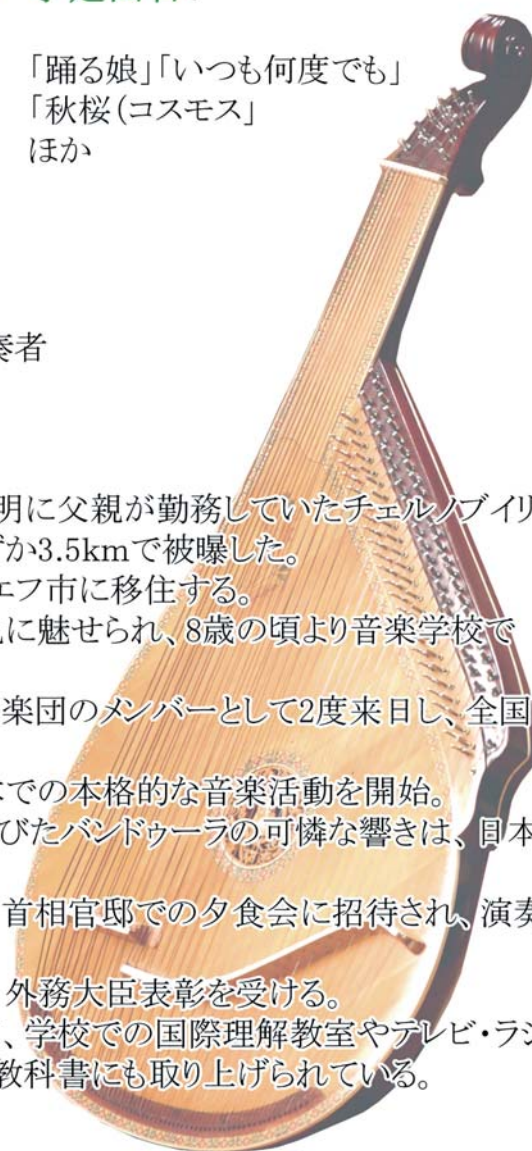
2000年より日本語学校で学びながら日本での本格的な音楽活動を開始。

その美しく透明な水晶の歌声と哀愁を帯びたバンドウーラの可憐な響きは、日本で多くの人々を魅了している。

2005年7月、ウクライナ大統領訪日の際、首相官邸での夕食会に招待され、演奏を披露。

2016年7月、これまでの活動が評価され、外務大臣表彰を受ける。

コンサート、ライブ活動に加え、音楽教室、学校での国際理解教室やテレビ・ラジオなど多方面で活躍しており、その活動は教科書にも取り上げられている。



岡山観光と夕食のご案内

日時：6月30日(日) A・Bプラン

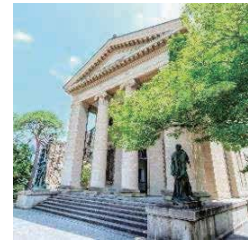
プランA 【倉敷大原美術館・美観地区散策】コース(45名限定)

参加費：17,000円（食事・入館料・送迎バス代を含む）

※倉敷せとうち児島ホテル宿泊希望者は25名迄受付ます。

宿泊料1名1室14,500円 ツイン11,000円

- 13:30 ホテルグランヴィア岡山出発
14:30 大原美術館着 美観地区散策は自由にお楽しみ下さい。
17:00 出発
18:00 倉敷せとうち児島ホテル着
(夕食 和懐石)
20:00 ホテル出発
21:00 ホテルグランヴィア岡山着
- 7月1日(月) 倉敷せとうち児島ホテル宿泊の方
7:30 ホテル出発
8:30 ホテルグランヴィア岡山着



プランB 【備前焼窯元備州窯(土ひねり体験)・特別史跡旧閑谷学校】コース(25名限定)

参加費：18,000円（食事・備前焼体験・送迎バス代を含む）

- 13:30 ホテルグランヴィア岡山出発
14:30 特別史跡閑谷学校着
15:00 出発
15:30 備前焼窯元備州窯着
17:00 出発
18:15 穂浪（夕食 和懐石）
20:30 出発
20:40 ホテルグランヴィア岡山着



各自(自由散策)

岡山駅バス乗り場から（夢二黒の助バス）
夢二郷土美術館→岡山後楽園→ホテルへ
バス乗り場より約30分ごとに1番乗り場から出発
好みの時間に降りた所から乗れます。
バス片道100円 夢二郷土美術館入場料800円
岡山後楽園入場料400円（65歳以上140円）



日時：7月2日(火) Cプラン

プランC 【玉野・直島地中美術館】コース(30名限定)

参加費：27,000円（宿泊・夕食・入館料・送迎バス代を含む）

17:00 ホテルグランヴィア岡山出発
18:00 瀬戸内温泉たまの湯（夕食・入浴）
21:15 ダイヤモンドホテル瀬戸内マリンホテル着

8:45 ホテル出発

9:00 宇野港着

9:22 宇野港発

9:42 直島港着

10:20 地中美術館（昼食 和懐石・家プロジェクト）

14:55 直島港発

15:15 宇野港着

16:10 岡山駅着



岡山観光の申し込みについて

*3月15日～4月15日まで各自メールでお申し込みください。（定員に達し次第締め切ります）

*お申し込み先：観光委員会委員 時光育子 tmst163@flute.ocn.ne.jp

カウンスル・クラブ・氏名・携帯電話番号を明記してください。

*参加費の振込みは締め切り後、ご連絡いたします。

*キャンセル・変更については、6月14日(金)までをお願いいたします。それ以降の返金はできません。

*お問い合わせ先：観光委員会委員長 繁森明美 akmilove@ymail.plala.or.jp

岡山からのエクスカージョンご紹介

高梁へ

岡山駅からJR伯備線で50分 高梁駅より備中松山城へはタクシーで20分

天空の山城

備中松山城

ベンガラの街吹屋



矢掛へ

岡山駅からJR伯備線 清音駅で井原鉄道に乗換え約45分

岡山市内より車で約1時間20分（レンタカー）、途中岡山天文博物館があります。

旧矢掛本陣

大名行列

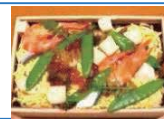
天文博物館



岡山祭り寿司

岡山祭り寿司をお土産としてご予約承ります。¥2,000(先着30個まで)

申し込みは3月15日から繁森観光委員長(akmilove@ymail.plala.or.jp)まで



吉備のまほろば岡山の魅力(その2)

林原美術館長 山陽学園大学副学長・教授 谷一 尚

備前岡山の城下町は、後に二の丸となる「石山」に居城の在地小領主金光宗高を、邑久が本拠の宇喜多直家が滅ぼし 1573 年に入城改築したことに始まる。直家は、国宝『一遍聖絵』にも描かれた、中世以来の経済の中心備前福岡から商人を移住させ福岡町と称して城下町の基礎を形成。その子秀家は、手狭となった石山から東方の「岡山」に本丸を移し 1595 年天守竣工。この旧国宝天守は戦災で焼失するが、早稲田大学建築学科に現存の図面を元に再建(図1)。「岡山」の地名の初出は、1594 年 4 月 7 日付秀家文書で、秀家が石山から本丸を移さなければ、石山県石山市であったかも。

岡山城下町の特徴は、西は内・中・外濠、さらに寺町、西川と幾重にも防御されているにも拘らず、東は旭川のみで濠もない歪な構造であること。これは、対毛利の織田軍中国方面司令官として宇喜多と提携した秀吉が岡山に駐留し、毛利方の城主清水宗治(直系子孫が現総社商工会議所会頭)守る備中高松城を水攻め(秀吉や黒田官兵衛が水攻めの軍議をした医師榎邸の跡が料理屋として残る)していた時に本能寺の変が勃発し、至急講和を結んで引き返し、歴史がここで一時停止したため。すなわち岡山城下町は、西に毛利という強大な敵を残したのに対し、東は味方で防御はそれほど必要でなかったことを示す。

関ヶ原の戦後、岡山城主は小早川秀秋となり、外濠を開鑿するが、嗣子無く 2 年で断絶。以後岡山藩主池田氏の居城として明治維新に至る。

小早川断絶後の美作津山には、本能寺の変で信長に殉じた小姓森蘭丸の末弟忠政が入封。出雲往来と吉井川の水陸交通の要衝、鶴山を津山と改称し築城。城郭は維新後破却も、鶴山公園として公開、「日本歴史公園 100 選」「日本さくら名所 100 選」に選定される。旧津山藩別邸庭園は、2 代藩主森長継が築造した林泉回遊式庭園で、城と中国山地が借景。維新後、衆楽園と名付け公開。1815 年改修の京都仙洞御所庭園と酷似しており、御所庭園

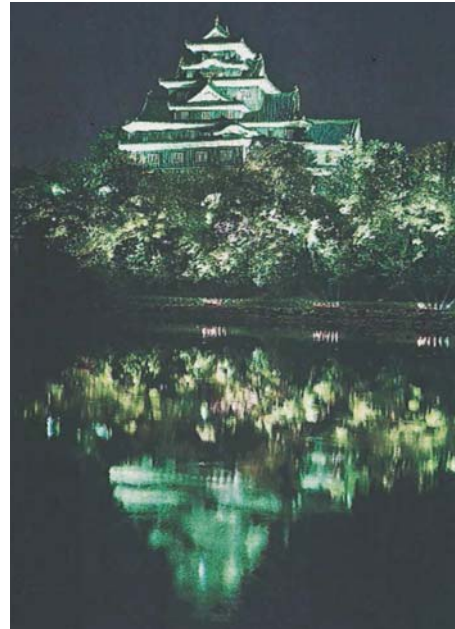


図1 再建岡山城天守、烏城灯源郷の逆さ烏城

改修の際、衆楽園を模したとされる。

備中足守は、秀吉の正室北政所の兄木下家定が関ヶ原の戦後 1601 年に入封、家定歿後一時除封も、家定次男利房が大坂夏の陣の功で 1615 年再封され、以後維新まで足守藩陣屋町として繁栄。6 代藩主木下谷定(きんさだ)が築いた遠州流池泉回遊式庭園の近水園(おみずえん、図2)は、東流する足守川から水を引き、鶴亀 2 島を配す。数寄屋造りの吟風閣は、足守藩が前述の京都仙洞御所や中宮御所を普請した際の残材で建てられたもの。当家 14 代当主が大正期白樺派の歌人木下利玄で、その生家も残る。



図2 旧足守藩主木下家庭園近水園、数寄屋造2階建の吟風閣は京都仙洞御所・中宮御所普請の残材を使用



図3 雲海に浮かぶ備中松山城

元々足守荘は、平安末に後白河上皇に寄進され、1184年に上皇から京都神護寺に寄進。1169年に足守荘が立荘された時の絵図(重文)が神護寺に残り、その裏書には吉備津神社(国宝)の神主賀陽朝臣(かやのあそん)の署名も見える。また、奈良春日大社の社家大宮家にも「荒野荘絵図」という、鎌倉末の児島湾干拓開発を示す絵図が残る。荒野荘は備前上道(かみつみち)郡にあった荘園で、鹿田川(現旭川)河口に堤が築かれ、その外側(現平井)を開発、対岸に鹿田荘と市、南側に児島半島、その西に「藤戸」の瀬戸、東に小串沖の「あわと(阿波戸か)」の瀬戸が描かれる。

閑谷学校は、岡山藩主池田光政が1670年、家臣の津田永忠に命じ開学した世界初の郷学(庶民の為の学校)。国宝の講堂の他、大成殿、鶴鳴門、石堀、東隣の閑谷神社本殿(旧芳烈祠)、拝殿など重文の建造物は枚挙に暇ない。近隣の黄葉亭は、1813年に同校教授武元君立(くんだりゅう)が来訪する諸国の文人墨客を遇するため建てた茅葺茶室で、頼山陽が翌年訪れ『黄葉亭記』を残す。光政は1672年、長男綱政に岡山藩、次男政言(まさつぐ)に支藩鳴方藩、三男輝録(てるとし)に内分家(通称生坂藩)を譲り隠居。この生坂藩岡山藩邸の長



図4 大原美術館本館窓からの眺望

屋門を維新後二の丸対面所跡に移築、これが現在の林原美術館の長屋門。

岡山城の対岸にある後樂園(この名称は明治から、当時は単に「後園」)は、藩主綱政が津田永忠に命じ1687年に着工、1700年に一応の完成を見た大名庭園。その特徴は、藩主が参勤交代で江戸在の際、期日を決めて男女別に庶民に公開していたこと。他の大名庭園でそうした例は皆無。また、地盤が砂質で湿度不足の為、苔でなく芝生を大量使用。これも我国の大庭園では初の試み。

高梁川中流域の備中高梁の北、臥牛山には日本最高所の山城、備中松山城(重文、図3)が聳える。承久の乱後の1240年、臥牛山系の大松山に有漢郷の地頭となった秋庭重信が砦を築いたのが最初。関ヶ原の戦後、備中奉行小堀正次・政一(遠州)父子が城番。1617年備中松山藩が立藩、池田・水谷(みずのや)・安藤・石川を経て1744年から維新まで板倉氏の居城。幕末期、同藩の財政再建と藩政改革を成し遂げた山田方谷の名を冠したJR伯備線方谷駅や方谷庵、墓所もある。

備中倉敷川畔の大原美術館(図4)は、1929年、画家児島虎次郎の意思を継ぎ、大原孫三郎が建設を計画、総社出身の薬師寺主計(かずえ)の設計で翌年、日本初の西洋美術館として開館。この大原美術館の成功が、幾多の成功者を刺激し、美術の名品を蒐集、功成り名遂げた後、社会への還元として自らの名を冠した美術館を設立することを理想とする風潮が興る。広島銀行の元倉敷支店長だった頭取が、蒐集した絵画を公開するひろしま美術館を設立した例はその最たるもの。登録博物館における美術館の割合が、第2位の東京都40.54%を凌ぎ、岡山県が56.25%で第1位なのは孫三郎からの大原氏4代の貢献のおかげ。



谷一尚氏 たにいち・たかし

1952年生まれ、東京大学文学部考古学科卒業、同大学文学博士。共立女子大学大学院教授、岡山市立オリエンタ美術館長、日本ガラス工芸学会会長、日本学術会議東洋学委員を経て現職。

カウンスル会長会報告

カウンスルNo. 1

会長 加藤 裕子

12月7日ITC-J役員の皆様と8カウンスル全ての会長が出席して行われました。

どのカウンスルの会長も、カウンスルの運営に前向きで、熱い思い、少人数クラブへの取り組み、それぞれカウンスルの特徴を生かしてのプログラム等本当に勉強になりました。

会員の人数が少なくても、前向きで、楽しみながらITC-Jの活動を行っていらっしゃるカウンスルがある事に驚き、とても刺激を受けました。

会長の皆様と楽しく刺激しあえる会がまたあると嬉しいと思います。

カウンスルNo. 2

会長 興梠 美和

カウンスル会合などで親しくなった会長さん達やITC-J役員の方々との和やかな挨拶後、会長会が始まりました。カウンスルについての現状報告、問題点そして第1回会合を終えての感想などを順次発表しました。No.2は会合を2回としたことやそのメリットについて報告しました。マニュアルについてはすべてを網羅した詳しいものを全員が購入するという意見に賛成しました。後日役員と相談の結果、まずはWEBに掲載されたものを見て、その後どうするか決定するとの意見を再提出しました。会議後のカウンスル会長さんたちとの集まりも有意義で楽しいものでした。

カウンスルNo. 3

会長 後藤 英子

各会長が、各々のカウンスルの現状を詳しく分析され、分かりやすく発表されたことにとても感心いたしました。同時に私自身ももっと頑張らなくてはと身の引き締まる思いでした。現状をしっかりと受け止めて、これからどうするかを真摯に考えていくことが大切だと痛感し、カウンスルNo.3役員・委員長・所属クラブ会長会でこれからのITC-Jを考えるための座談会をすることにしました。いっぱい刺激をいただき、良いお勉強をさせていただいたことに感謝しております。またこのような機会があれば嬉しいと思える有意義なカウンスル会長会でした。

カウンスルNo. 4

会長 金子三屋子

ITC-Jは総合的なコミュニケーションの場であると感じて帰りました。

会員の増強は大きな問題点です。入会をお誘いした会員が魅力的で輝いていると、若い人の入会に繋がるように私達も、もっと輝いて行こうと思います。

今、輝いているクラブ会長の報告書から、こんな素敵な言葉のリレーが出来ました。

「新しい風を取り入れて、リフレッシュして楽しく学び、各自が責任感を持ち、クラブで魅力のあるプログラムを行います。個人の特性をいかし、知的好奇心を満足させ、会員が向上しあいます。それぞれが主人公であり、自分のやり方で挑戦して、みんな輝き、敬愛する。

そんなカウンスルNo.4と報告しました。

カウンスルNo. 5

会 長 田中 和美

各カウンスル会長の報告はどなたもとてもご自分のカウンスルを良く分析され、報告のご準備が良く、分かり易く感心致しました。

最も関心があった指名委員の選挙方法についてはカウンスル役員の選出については、正解はなく、今後もカウンスル内で検討を要します。また、No.7の多くの一般ゲストについて行われたアンケートでITC-Jの認知度が非常に低いという結果からも、社会への発信、広報の必要性を強く感じました。No.3の高校生スピーチコンテストやNo.4ひがし広島クラブの小学生スピーチコンテストに倣うようなことがNo.5でもできないかとしきりに思案しております。

カウンスルNo. 6

会 長 西田富美子

カウンスル会長会は本当に意義ある会合でした。ITC-J加藤会長の細やかな準備の下に進められました。各カウンスル会長がその報告を誠実に述べられるのを目の当たりにして、一瞬ITC-Jの確かさに感動すら覚えました。

私共No.6は構成員28名です。鑑みて大小にかかわらず、各カウンスルの持つ問題と課題(会員減少、増員の難しさ)は共通項としてあることを確認しお互いそれぞれ独自性を持って努力し前進に向かっています。絆の大切さを思いました。

カウンスルNo. 7

会 長 竹内ひとみ

今後の課題と展望を明確にし、問題解決の可能性とその方法を学び、多くの知恵と勇気をいただいた会長会でした。No.7は、会員数の減少をいかに押さえるかが課題の一つです。8クラブ合計200人以上の会員で活動していた頃と比べ、十数年前から2クラブが解散し、6クラブ合計132名となった現在、少人数のクラブでは役職兼務や工夫・努力をしながらの活動です。より良いプログラムを提供し、興味を持ち共感する仲間を増やすことを目指す一方で、会合への参加を促す地道な努力を続けることが大切なのだと納得しました。

カウンスルNo. 8

会 長 山口久美子

各カウンスル会長からカウンスルの特色や今期の方針、問題点や解決策等様々な報告と意見交換がされました。一番の悩みは会員の減少と高齢化のことだったNo.8では新会員の獲得と同時に現会員が辞めない工夫にも取り組んでいます。新会員獲得のために、クラブごとの例会風景を取り入れた「お誘いカード」を作成し活用していること。辞めない工夫のために、カウンスルの運営を改革して会員の負担を減らしたことを報告しました。No.5からの新会員が入会した理由に「誘ってくれた方が魅力的だったから」という報告はかくありたいと印象深く残りました。

第1回会合プログラム考察

COUNCIL No.1

【来し方行くすゑ】

「いにしえゆ未来遙けく満ち欠けて月は天空の旅路を渡る」

今期のプログラムテーマ「来し方行くすゑ」に沿って、短歌会を代表する竹村紀年子さまを講師として、戦前戦中戦後を通しての、その半生と、短歌との関わりについて、対談形式でお話ししていただきました。準備段階では、ご本人とお会いし、質問項目とそのタイミングなど、聞き手となる片桐さんが細かな進行表を作成され、構成を十分に練っていただきました。

また、聴衆の興味をそらさないために、短歌をスクリーンに表示し、さらに印刷したものを全員に配布し、また短歌の添削を各自考察してもらうなど、配慮しました。

反省点として、まず一番に挙げられるのは、マイクテストが不十分であったこと。対談相手との距離を配慮していませんでした。

2番目の反省点は、当時の写真などを表示すれば、より時代を感じていただけたらろうという点。

3番目は、事前の広報について。プログラム終了後に、「もっと多くの人に聞いていただきかった」という嬉しい声を聞きました。タイトルなど、ひと工夫する余地はありそうです。

カウンスルNo.1 第一副会長 古屋 弓子



COUNCIL No.2

講演 「飲んだらいけない薬と、そのやめ方を考える」 & クラブ対抗 「クラブ自慢」



今期は2回の会合開催となりましたので、30分延長しての開催となりました。そして2つのプログラムを考え、1つ目は、高齢化していく会員にとって興味を引く医薬の知識を学び出来るだけ健康に過ごしていただけるよう医学博士浜六郎先生に「飲んだらいけない薬と、そのやめ方を考える」について講演を依頼しました。2つ目は会員全員が参加するプログラムにしようと考えて、今期は京都クラブが編入してこられたので、クラブ紹介を兼ねて、クラブ対抗「クラブ自慢」を行いました。講演とクラブ自慢の二本立てで、それぞれに時間が十分とれないのが懸念されました。

もっと医薬の話が聞きたかったとの声もありましたが、70分だったからこそ難しい話も、だれることもなく終われたかと思います。

クラブ自慢に関しては、各クラブが集まって練習が必要となり、団結し会合まで結構盛り上がったと聞きました。持ち時間を6分と短い時間設定にもかかわらず、工夫を凝らし出演者も観客も楽しむことができました。今までにない企画でよかったと評価をいただきました。

カウンスルNo.2 第一副会長 藤之原 仁美



第1回会合プログラム考察

COUNCIL No.3

講演「落語家に学ぶ話し方の極意」 & 落語

第1回カウンスル会合でのプログラムは、落語家の桂福丸氏による「落語家に学ぶ話し方の極意」を、講演60分、落語30分、そして質問タイム10分の時間配分で開催致しました。

桂氏に気持ち良く壇上にて、お話いただけるように、特に落語の高座、お囃子、めくり等雰囲気作りの準備に気を配り、その点後日桂氏よりお礼の言葉を頂き思いが届いた事を嬉しく思いました。

予想以上の参加者で大きな部屋に変更した事も、儀典が各テーブルでの落語に因んだディスプレイもゲストに喜ばれて功を奏したと思います。反省点ではレクチャー台でのプログラムリーダーの背丈の確認を怠り折角の着物姿が余り見えなく踏み台を設置せねばならなかった事でした。出来る範囲で出来る限りの確認のリハーサルが出来ていればと思います。桂氏の講演も笑いを取入れ聴衆に受け入れ易く多くの方々に「良かった！」と声を掛けて頂いた事は次へのステップとなり又励みにもなりました。

カウンスルNo.3 第一副会長 釜田 睦子



COUNCIL No.4

エゴグラム・レクチャー&アセスメントテスト 「心の平和を探そう」

第1回会合のプログラムは、講師に伝田三男様をお招きしてワークショップを行いました。

“心の平和を見つめて”という題で三部門に分けて行われました。

最初は、アセスメントで50問のテストを行いその後伝田講師がテストの結果の解説をされました。知らない部分の自分が見えて会員は大変喜ばれておられました。

次に、三人一組(クライアント・フィールド・バック)で役をかわるがわる行いました。

最後に伝田講師とコーチングのデモンストレーションを会員歴の浅い会員と長い会員で行うという構成でした。

良かった点は、今まで体験したことのない事だったので大変喜ばれた事、改善点は、ないと思います。反省点は、デモンストレーションのあり方をもう少し考えた方がよかったですと思います。

カウンスルNo.4 第一副会長 光成 史子



第1回会合プログラム考察

COUNCIL
No.5

「仕舞」 講演「ワーキングママ、ホップ・ステップ・ジャンプ！」



カウンスルNo.5 30周年記念会合という事で委員会では、田中会長を中心に「やってみよう！可能性を信じて」のテーマのもと、オープニングに、能楽金剛流若宗家 金剛龍謹氏と門下の方に「仕舞」を厳かに舞って頂きました。

プログラムの講演は、大阪市生野区長としてご活躍の山口照美氏による「ワーキングママ、ホップ・ステップ・ジャンプ！」です。女性区長になられるまでの経緯、これからの女性の活躍について講演をお願いしました。しかし子育てが終わった会員には、タイトルを見て記念会合には相応しくないのご指摘がありました。

懸念していましたが、区長の優しい語りの中にも力強いお話に生きる勇気を感じ、日常生活が鼓舞されるような講演だったとの評価をお聞きし安堵しました。

歴代会長回想スピーチは、委員作成による映像が流れた後、8名の会長が素晴らしいお話をされました。

今後に生かす点は、正面とサイドの演台の活用の仕方について課題ができました。

カウンスルNo.5 第一副会長 代田 有祐美



COUNCIL
No.6

ITC-J 四つの柱を学ぶ 古琴の演奏



第1回会合は、2018年11月21日(水)10:30から、毘沙門堂門跡を拝観し、11:30から、洛東迎賓館に於いて、ブリーフィング、昼食会。12:50開会。

プログラム委員会を開催し、「ITC-Jの4つの訓練」のプログラム計画の参考資料を基にどのようなプログラムにするのか、習得する技術を考えてプログラム委員会が、検討しました。分野について各クラブ委員が籤引きで公平に決めました。

①企画書はクラブ毎に提出して貰う。②企画書を基に1クラブ15分の発表の段階で考え仕上げ、提出して貰う。以上のプロセスを踏むことにより、クラブが1つのプログラムを完成し、発表に至りました。

- | | | |
|--------------|--------|-----------------|
| 1. 自己啓発 | 琵琶湖クラブ | 即興スピーチ、即席スピーチ |
| 2. コミュニケーション | 北摂クラブ | プレゼンテーションの大切な要素 |
| 3. 評価 | 平安クラブ | 評価訓練と文章評価 |
| 4. リーダーシップ | 奈良クラブ | 傾聴する、話し合う、評価する |

- ・各クラブが真面目に取り組みクラブ内のコミュニケーションで1つのプログラムを達成することが出来ました。
- ・参考資料として、クラブからの資料提出等があり、出席者が共有することが出来ました。
- ・プログラムの最後に、古琴・蔡愛琴(さいあいきん)様の演奏により、心豊かに終えることが出来ましたことに感謝しております。

カウンスルNo.6 副会長 目片 ミヨ子

第1回会合プログラム考察

COUNCIL No.7

パネルディスカッション 「人生を豊かにするコミュニケーション」

良かった点は、意図したことが評価として出てきたことです。コミュニケーションを学ぶ会員にとって、現実社会でコミュニケーションを生かして活躍のお二人の講演を聞くことでコミュニケーションの必要性が充分フロアに示された上に、フロアからの活発な質問で講演の内容に広がりが出て、楽しく有意義でした。今までになかった企画。女性の活躍をさらに後押しする内容など。両サイドのスクリーンに質問をタイムリーに文字化したこと、新入会員のフロアへのマイク回しが双方のコミュニケーションになったこと等も好評を得ました。



反省事項は、プログラム委員長がモデレーターを務めたが第一副会長の役割からみても他の会員に提供すべき立場にあるとご意見を頂いたこと、プログラム委員会として準備したものの3割位しか使えなかったこと、フロアからの質問が出ない場合の準備はしましたが、質問が出た場合の時間配分等を考え忘れていたことです。

カウンスルNo.7 第一副会長 原田 かおる

COUNCIL No.8

I 部 パネルディスカッション-「未来の年表」を読んで- II 部 ワークショップ-スマホを使って自己評価-



1.ねらい 日頃クラブのプログラムから多くを学び、カウンスルでも同じ視点で計画を立てられないかと考えました。No.8は10名未満のクラブが5、一人でも多く会員が関わり、交流に繋がるプログラムを目指します。

2.準備ならびに展開 7月下旬プログラム委員会がスタート、検討と同時にプログラム案を固め、8月下旬役員会承認、カウンスルメールで発表の運びとなりました。先輩からプログラムは「練れば練るほど良いプログラムになる！」と聞いていましたが、その点からはタイトなスケジュールで、改善の余地があると思います。

パネルディスカッション:プログラムの詰めの甘さを痛感し、なんども立ち往生。委員会およびプログラム参加メンバーとの打ち合わせは、現実的にはメール、電話による打ち合わせが中心になり、意見を深めるには限界がありました。

ワークショップ:年次大会で評価の実績があるプログラムリーダーで、心強い取り組みでした。会場のスペースの関係で、周りの声が騒がしいとの指摘もあり、座席スペースの配慮が必要でした。

3.結び 評価に、もう少し時間があればと多くご指摘があり、与えられた時間に二つのプログラムは無謀だったかもしれません。パネルディスカッションは、ベテランのモデレーターのリードで、パネリスト夫々の持ち味が活かされました。PLが要所を抑え雰囲気を作ってくださいました。スマホの機器の操作など、クラブ、世代を越え、新しいことに挑戦する会員の熱気が伝わり、プログラムの一つのねらいはかなえることが出来ました。

カウンスルNo.8 第一副会長 関原 暁子

ITC-Jマスターマニュアルについて

ITC-Jの学びの指針となるITC-Jマスターマニュアルは現在最終の確認を行っております。

マニュアル検討委員会からマニュアルの原案が提出され、監修委員会の監修を経て、役員会へ。役員会で確認をし、修正いたしました。それをまた、検討委員会と監修委員会で確認していただいております。

ITC-Jのマニュアル作成を行っているとお知らせしましたところ、会員からトーストミストレス時代のマスターマニュアルが届きました。

また、役員の中にもトーストミストレス時代のマニュアルを持っている役員もおり、私たちは思いがけず、3冊のマニュアルをじっくりと読むことができました。

ITCという組織が世界中で活発に活動していた時に作成されたマスターマニュアルです。

ITC国際が作成し、世界中のITCの会員が同じくそのマスターマニュアルを指針としてコミュニケーション技術の学習をしていたのです。何と素晴らしいことでしょうか！ それは偏にITCという組織の堅実さと、加えて有益な教育資料(マニュアル)の存在であったことは想像に難くありません。

国が異なっても文化が異なっても宗教が異なっても、また、時代が変わってもコミュニケーションの学びのベースは同じなのです。今さらながら、「話す・聴く・書く・読む」というコミュニケーションの4本柱の大切さを思います。

ですが、もうITCはありません。誰も私たちに資料を与えてはくれません。

トーストミストレス時代のマスターマニュアルが今も色あせないように、未来のITC-Jにおいても、現在作成中のマスターマニュアルがいつまでも学びの指針として使えるよう、気を引き締めて確認作業を行っております。

マニュアルはお手元に置いて、必要な時にすぐにお使いいただけるよう印刷・製本をいたします。且つ必要な箇所を必要な時に使っていただけるようウェブサイトにも掲載いたします。

ご活用くださいませ。

ITC-J役員会

記念例会ご案内

カウンスルNo.2 京都クラブ40周年記念例会

日時：2019年6月21日(金) 11:00~15:15

場所：京都ガーデンパレス

2階 葵の間

会費：6,000円

プログラム

ビジネス 役員就任式 記念式典

講演とワークショップ「母語の底力」

講師 佐藤弘樹氏(ラジオパーソナリティ)

ウェブサイト利用について

今期目標の一つは「ウェブサイトの充実」です。

永久保存資料を会長が保管することになり、会報誌、大会冊子に目を通してみる機会を得ました。どの期の会報誌も大会冊子もそれぞれに素晴らしく、読み始めましたら止まりませんでした。

これらはただ保管しておくものではなく、ひとしく皆様にいつでもご覧いただけるようにしたいと思いました。

会員のみなさまにこれらの資料をいつでもどこからでもご覧頂けるようウェブ化を進める予定を組んでおります。

現在、まだウェブサイトに掲載できておりませんが、できるだけ速やかに進めてまいります。先日、会報誌掲載のためのテストを行いました。ITC-Jウェブサイトにて会報誌の表紙がならんだ光景はITC日本リージョン第1期から37年の歴史の推移とともに感慨深いものがあります。

現在、ウェブサイトには

- 会則：ITC-J会則、カウンスル／クラブサンプル会則
- 役員会・事務局：ITC-J役員・委員会名簿、カウンスル／クラブ役員名簿
- 委員会：指名、大会準備、会員、プログラム・教育、スピーチコンテスト
- ITC-Jメール：第37期第1回、第2回
- ITC-J会報誌：第37期第1号
- カウンスル会合：会合案内・行事案内
- クラブ周年記念案内
- 資料：教育資料・ITC80年の歩み、日本リージョン沿革史（10周年・20周年・30周年）
- 各種書式・ロゴ
- ITC-J年次大会：36期ITC-J第1回年次大会・大会写真集、ITC-J第37期第2回年次大会
- 新入会員：会則、資料、歴史
- アーカイブ：ITC第34回年次大会写真集・TPP、ITC第35回年次大会写真集・TPP

以上を掲載しており、次々に更新しております。

ウェブサイトに掲載ご希望の項目がありましたら、どうぞご意見を役員会までお届けください。よろしく願いいたします。

ITC-J役員会

カウンスルNo.1 飛騨高山クラブ30期記念例会

日時：2019年5月13日（月）11:30～15:30

場所：ホテルアソシア高山リゾート
4階 ダイヤモンド・3階 天翔の間

会費：10,000円

プログラム

式典

講演「逢えてよかった」

講師 浜美枝氏（女優）

対談 浜美枝氏・山田拓氏（株美ら地球代表取締役）

カウンスルNo.7 米子マンデークラブ30周年記念例会

日時：2019年5月13日（月）11:00～15:00

場所：ANAクラウンプラザホテル米子
2階 飛鳥の間

会費：8,000円

プログラム

講演「人生に効く脳科学

～脳が創り出す男女のミゾ、人生の波～

講師 黒川伊保子氏（株感性リサーチ代表取締役）

エンターテインメント～音楽の調べ～

お知らせ

訃報 東京クラブ 岩佐圭子様が2018年11月1日ご逝去されました。
謹んでご冥福をお祈りいたします。

東京クラブチャーターメンバー岩佐圭子さんが昨年11月1日急逝されました。岩佐さんはリージョン大会コーディネーター、カウンスル会長など長年ITCにご尽力下さいました。葬儀の祭壇にはお好きだったブルーポネットと白いお花が飾られ、清廉な岩佐さんらしいご葬儀でした。

東京クラブからは思いを込めた弔電をお送りいたしました。

「突然の訃報に接し、一同言葉を失い深く悲しんでおります。もう二度とお会いできないと思うと胸が張り裂けるばかりです。ウィットに富んだスピーチ、ハイセンスなファッション、類い稀なリーダーシップは私達の憧れでした。穏やかな笑顔で42年間クラブをお導きくださり、感謝の念に堪えません。在りし日のお姿を偲びつつ、心よりご冥福をお祈り申し上げます。」

岩佐さんは例会には万難を排してご出席くださいましたので、今も空の上から例会に参加してくださっているような気がいたします。 合掌

東京クラブ会長 田中真紀子

ITC-J ウェブサイト会員ログイン方法



① <http://www.itcjr.jp/> クリック！ ② 会員専用ページ ログイン

ユーザーID 会員番号 パスワード 会員の姓のローマ字小文字 (例 nihon)

*ID番号がわからない会員はウェブサイト委員長までメールにてお尋ねください。

編集後記

会報誌第2号は、年次大会の情報提供を主軸とし、一方ではカウンスルの第1回会合の考察などを取り上げることを試みました。後期にまた今後これらの考察が少しでも活かされますならば、編集スタッフ一同これ以上の喜びはございません。

谷一尚先生の続編は、前回同様、流暢な文章に魅了されると共に史実の変遷に興味深いものがあります。ここに、会報誌第2号をお届けいたします。

有益な情報など編集スタッフにお寄せ頂きますようお願いいたします。

編集者：秦野順子 編集スタッフ：藤山由起子・住田実寧子・廣田花江

前号訂正：裏表紙の声明文の日本語最後の行、「要請」を「養成」とご訂正ください。
なお、ウェブサイトには訂正したものを掲載しております。

印刷：米子プリント社

ITC-J 宣誓

ITC-J Pledge

我々、インタラクティブトレーニング イン コミュニケーション-ジャパンのメンバーは、世界中の相互理解促進のために、コミュニケーション技術と指導力の向上に努めることをここに誓います。

We, as members of Interactive Training in Communication-Japan, hereby pledge to improve our communication and leadership skills, in order to achieve greater understanding throughout the world.

ITC-J 声明文

Mission Statement of ITC-J

ITC-J の使命は、ITC-J の目的とするコミュニケーション技術と組織運営の技術を習得する機会を会員に提供してリーダーシップをそなえた成熟した社会人を養成し社会に貢献することにある。

The mission of ITC-J is to present the members opportunities for quality training in communication and leadership skills which are the purposes of Interactive Training in Communication-Japan and benefit the society by providing mature individuals.